



児童・園児送迎バスの安全対策等に対する町の対応について

畑 豊

町長 今後も複数の人の目による車内確認を確実に
行い、置き去り事故防止に努める



問 送迎バスの運行状況は。
答 2台の送迎バスで明覚小学校、萩ヶ丘小学校、はなぞの保育園の送迎を行う「都幾川便」と玉川小学校、玉川保育園の送迎を行う「玉川便」の運行をしている。また、運行管理業務は

業者に委託している。運行後は、1日2回車内清掃・消毒を実施しているため、同時に置き去り事故防止確認が行われている。
問 安全運行等のためのドライブレコーダーの設置状況は。

答 設置していないため、直ちに設置する。
問 命・身体を守る車外脱出対応教育、訓練は。
答 車外脱出対応教育、訓練を行っているため、早急に行う。
問 今後の置き去り事故防

止対策は。
答 バス添乗マニュアルを刷新し事故が起きないように万全を期す。
問 添乗員の救命対応は。
答 救命講習を受講した保育士が対応している。
問 安全装置の設置は。
答 国の仕様が確定後、速やかに設置する。

手話言語条例の制定について

野原 和夫

町長 早期の条例制定に努める

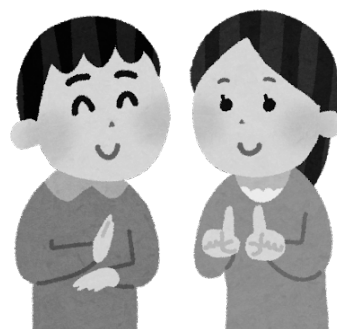


問 手話への理解を深めるその一歩として「手話言語条例」が広がっている。埼玉県内でも6割の自治体で条例化されている。手話言語条例をときがわ町でも制定する考えは。

答 全体的に人が支え合いながら生きる共生社会の実現に向けた大変重要な取り組みであると認識しており、早期の条例制定に努める。帯状疱疹予防接種への補助金を
問 50歳代から発症率が高

くなり、80歳までに約3人に1人が帯状疱疹を発症するといわれている。町独自の予防接種補助金について町の考えを伺う。
答 来年度から実施できるよう医療機関等と調整しながら進めていく。

介護保険料の引き下げを
問 高い保険料への引き下げを求める声が多く届いている。介護保険料を引き下げて利用者負担軽減につながるが、町の対策について伺う。
答 介護給付費準備基金を充当することにより、介護保険料の引き上げを抑えたいと考えている。
※ほかに「インボイス制度について」も質問した。



電気バスの運行状況は

問 なぜ運行が遅れたか。
答 教習と機器の不具合の改修に時間を要した。
問 いつから全路線を電気バスが走るのか。
答 予備車両であるイーグルバス所有のバスと混在する場面もあるかと思う。
問 いつになったら本当のことが聞けるのか町長に伺う。
答 5台のバス全てが路線バスとして配車できないことを心苦しく思う。

明覚駅無料自転車置場の利用状況と管理は

山中 博子

町長 管理は企画財政課。駅周辺の清掃などは観光協会



問 置きっぱなしの自転車があるのを確認しているか。
答 一度調査をし、5台に警告文を取り付けた。1台は所有者不明として警察と相談している。
問 多くの人が利用できるよう登録は必要では。

答 利用者を限定していくということは考えていない。
問 警告文には町の環境保全条例で放置自転車としているが、条例で定める放置自転車には当たらない。条例には保管場所も保管料の規定もないがどう対処するのか。

答 本庁舎か第二庁舎の適当な場所に保管し、警察の指導に沿って撤去していく。
問 町長に伺う。条例を制定し駐輪場の管理をするべきでは。
答 法律整備は必要と考える。

小学生、単身高齢者に見守りペンダント（緊急通報サービス）を

神山 俊

町長 今後、研究を重ねていく



行政文書の電子的管理をデジタル保存
問 行政文書の電子的管理を推進すべきではないか。
答 国、県、他市町村の動向を見ながら慎重に検討していく。

旧社会福祉協議会事務所等を解体し駐車場に
問 旧社会福祉協議会事務所や一ト市地域事務所を駐車場にするべきではないか。
答 旧社会福祉協議会事務所は、1階は庁用車の車庫、

2階は書庫や倉庫として使用している。今後、旧消防分署と併せ、一体的な整備計画を作成していく。一ト市地域事務所は倉庫及び地元の会議室として利用している。今後、地元と協議し、解体を含め検討する。

ウォーキングやラジオ体操の推進を
問 ウォーキングやラジオ体操を推進すべきではないか。
答 今後は定期的に記録表の配布やインボディ測定会を行う。
ときがわ町定員適正化計画の見直しについて
問 計画は来年に最終年度を迎えるが総括や次期計画策定を行うのか。



答 次期計画の策定を行う際に、総括も実施していく。